



SPORTS TOWN. GOTEMBA

富士山の麓でスポーツ交流

スポーツタウン御殿場 2023年度 事業報告書

スポーツタウン御殿場推進協議会事務局

2024年4月16日(火)



01

部会の開催状況

4 部会の開催状況

本協議会参画団体が4部会に分かれ、総会で承認を受けた事業計画の磨き上げや次年度計画に向けた意見交換を実施。団体間での情報共有や交流が生まれる副次的な効果があった。

スポーツツーリズム部会

開催日：9月15日

協議内容：情報発信、PRグッズ、スポーツイベント誘致に関する事業について意見交換

開催日：3月22日

協議内容：各部会員の取組を共有。次年度事業計画について意見交換



スポーツ交流部会

開催日：7月12日

協議内容：各団体で行われている取組みについて情報共有、意見交換

開催日：3月8日

協議内容：各部会員の取組みを共有。次年度事業計画について意見交換



サイクルスポーツのまちづくり部会

開催日：8月24日

協議内容：各部会員の取組を共有。ロゴマーク入りサイクルラックの活用方法や自転車活用推進計画、二子パーク整備に関して意見交換

開催日：3月21日

協議内容：各部会員の取組を共有。次年度事業計画について意見交換



空手のまちづくり部会

開催日：11月26日

協議内容：市空手道連盟理事会にて東京2020大会レガシー空手大会の情報共有、意見交換。

大会開催前に随時関係者と打合せを実施。

大会以外の空手のまちづくり事業の実施に伴う打合せを実施。

その他

次年度大会に向けた大会概要・選手選考、開催までの取り組みなど、随時関係者と打合せを実施。

ホームページの管理・運用

御殿場市のスポーツ情報を網羅するホームページを運用。
本市の豊かな自然環境や魅力的なスポーツ資源をカテゴリごとに分けて紹介するほか、
様々な官民団体の行う市民向けのスポーツイベント情報を横断的に発信する。

スポーツタウン御殿場ロゴマークの活用

スポーツタウン御殿場設立に伴い、ロゴマークを作成。様々なイベント広報物やウェア等
へ使用可能。スポーツタウンの認知度を上げることで市内外に御殿場市のスポーツ情報を
発信し、多くの市民がスポーツに参画することでスポーツのまちづくりを促進する。

ホームページの管理・運用



HP内の回遊性を高めるため、カテゴリーを増やすなど改修を行った。ユーザー数、ページビュー数ともに昨年度を上回る数字となった。また、記事掲載にも力を入れ、100を超える記事をアップした（昨年：93）。

内容

■カテゴリー別記事更新数/104記事

○サイクリング	6記事
○ゴルフ	8記事
○乗馬・馬術	3記事
○アウトドアスポーツ	4記事
○空手	15記事
○スポーツライフ（市民向け情報）	68記事

■HP情報

- ユーザー数：58,282（昨年：44,988）
- ページビュー数：123,998（昨年：101,179）

令和5年度閲覧者の多いページトップ5

1. トップページ/11,216（昨年：8,584）
2. KMFC2023/10,197
3. パレットごてんば/5,812
4. ちいさなFUJI 2023/4,761
5. サイクリングコースガイド「富士一」/4,142

■改修内容

○カテゴリーの追加（6⇒8）

「サイクリング」「ゴルフ」「アウトドアスポーツ」「空手」
「モータースポーツ」「スポーツライフ」「アスリート活躍情報」
「御殿場市の施設情報」



○ボタンデザインの変更

より注目されるデザインとするためメニューボタンにイラストを追加

○「応援アスリート」「市所縁のアスリート」ページの製作

東京2020大会から始まった「応援アスリート」や全国大会、市町駅伝などで活躍する市民を紹介



○モルック特集記事の制作

基本ルール、投げ方、大会情報、市内チームを紹介



スポーツタウン御殿場ロゴマークの活用



スポーツタウンの認知度向上を図るため、広報グッズとしてロゴ入りポロシャツとウェットティッシュを制作。各種団体様にもロゴマークを使用いただいているが、今後市民への認知向上が課題となる。

ロゴマークの使用申込

申込件数：7件

使用内容：Tシャツ、パンフレット、チラシ

申込団体：市スポーツ協会

市野球連盟

社会福祉協議会

富士岡地区体育振興会

NAKA-Möl Gotemba



ノベルティグッズの製作

■ウェットティッシュ

制作数：13,600個

多くのイベントで配布し、参加者や来場者への認知度向上につなげた。



広報PRグッズの製作

■ポロシャツ

購入数：400着（市役所職員、当協議会関係者、市民）

販売時期：5月

クールビズシーズンに活躍するアイテムとして、スポーツタウン御殿場のロゴが胸元に入ったポロシャツを多くの方にご購入、着用いただいたことでスポーツタウン御殿場のPRとなった。



③ サイクルツーリズム事業

サイクリングイベント開催・支援

全国から来市するサイクリングイベント参加者が再来訪したくなるおもてなし事業を実施。また併せて、市民が自転車に乗る機会を創出する。イベントは東京2020大会1周年となる7月～9月を中心に開催し、レガシーとしてサイクリング好適地であることをPR。

サイクリスト受入れ環境の整備

サイクリストを理解し温かくもてなす地域社会を目指し、市民が自転車に親しむイベントやサイクリストの受入れ環境を整備する。また、市域を拠点とする自転車チームや企業と連携したサイクリスト誘客に取り組む。

サイクリングイベント開催・支援



富士山1周サイクリング

主催：(一社)ルーツ・スポーツ・ジャパン 共催：御殿場市

10月1日（日） 会場：富士山樹空の森 参加者：732人（宮城県～大分県から参加。東京都178人、神奈川県126人）

- ・年齢：13歳～77歳。年齢層最多：50代で233人。昨年（2022年：686人）と比べて46人の微増。

1 dayイベントへの参加者が戻りきっていないことがうかがえる。Withコロナの中、個人でサイクリングを楽しむ方法が増えたことが考えられる。

- ・116kmのコースに6箇所設けた休憩所で地域グルメを提供した。
- ・新企画「アフターパーティー」を実施。ゴール会場で金華豚フランク、冷茶（小野園）、パン・カフェ（ビケット・とまり木）アスリートシフォンなどの地元グルメを参加者に振舞った。ビュッフェスタイルで楽しめ大好評を得た。
- ・ステージ上では、富岳太鼓によるパフォーマンスも行い、参加者の疲れをいやした。
- ・富士山ごてんばサイクリングプロジェクト（FGCP）のメンバー25名がガイドサイクリストとして運営を支えた。



富士登山道活用サイクリングイベント



ジャパンピークス

主催：(一社)ルーツ・スポーツ・ジャパン 共催：御殿場市【スポーツ庁補助事業】

8月11日（金・祝）～11月12日（日） 申込者：537人（参加者の90%以上が県内、関東圏）

・全国の名だたるヒルクライム5コースの一つとして富士山樹空の森をスタートに御殿場口または富士宮口五合目までをゴールとするコースをアプリ上に設定。登山道を有効活用する期間分散型イベントとして開催した。

- ・参加者自身のタイミングで御殿場に来市しヒルクライムを楽しんでいた。
- ・レベルの高いサイクリストの挑戦心をくすぐり、市内にあらゆる層のサイクリストを誘客した。
- ・富士山ヒルクライムと同時期に開催することで、集客増加の相乗効果を図った。



富士山ヒルクライム

主催：(一社)ルーツ・スポーツ・ジャパン 共催：御殿場市【スポーツ庁補助事業】

※富士宮口5合目の積雪、雷雨のため当日朝中止決定

10月29日（日） 会場：富士山樹空の森 申込者：465人（青森県～大分県から参加。東京都98人、神奈川県79人）

【ショートコース】国立青少年交流の家～富士山御殿場口新五合目、距離9.1km、獲得標高719m

【メインコース】国立青少年交流の家～富士山富士宮口五合目、距離27.2km、獲得標高1,712m

- ・年齢：13歳～75歳。年齢層最多：40代で143人。
- ・チラシ配布、同報無線、国道・県道電光掲示板を活用した交通規制の周知を行った。



サイクリスト受入れ環境の整備



富士山1周サイクリングと同時開催。多くの市民が富士いちのゴール者を温かくもてなした。特にランニングバイク体験は非常に人気であったため、今後体験会や教室の開催回数増加を目指したい。

GOTEMBA CYCLE FESTA

主催：スポーツタウン御殿場推進協議会

10月1日（日） 会場：富士山樹空の森 参加者：約1,000人

- ・多くの市民がサイクリストを理解し温かくもてなす地域社会を目指すため、富士山1周サイクリング（富士いち）ゴール時間にあわせ集客し、多くの市民が自転車に親しむ機会を創出した。
- ・集客強化のため目的を同じくする既存の地域イベントFuji Climb Festivalを同時開催。
- ・会場内にカウベルの音が響き渡るなど、富士いちの盛り上げにもつながった。

GOTEMBA CYCLE FESTAコンテンツ

- ・ランニングバイク体験（定員60名満員）
- ・富士いち完走者を貸出カウベルでおもてなし
- ・自転車グッズ販売（High Ambition2020jp.様協力）
- ・飲食販売（御殿場ベーカリービケット様協力）

Fuji Climb Festivalコンテンツ（同時開催：御殿場ベーカリービケット主催）

- ・ワークショップ（紙飛行機、ポーセラーツ、メダカすくい等）
- ・縁日（輪ゴム銃の射的、輪投げ、ヨーヨーすくい等）



サイクリスト受入れ環境の整備



サイクリスト受入れ環境の整備

「ごてんばっ木」を使用したサイクルラックを製作。市内公共施設等に設置。

ご購入実績：Café & Bakery TOMARIGI 様（東山）



御殿場市体育館



御殿場市陸上競技場



Café & Bakery TOMARIGI

地元チームや企業とのサイクリスト誘客 主催：High Ambition2020 jp

駒門グラベルライド

11月10日（土） 会場：大坂地区コミュニティ供用施設

- ・ 駒門周辺のグラベル（未舗装路）コースを活用したサイクリングイベント。
- ・ 御殿場市駒門地区のコース特性を生かしたツーリズム、地域のスポーツ振興、健康増進と自転車普及を目的として実施

04 スポーツイベント誘致・開催支援、 トップアスリートを見る機会の創出

東京2020大会を通してアスリートを見る・応援する・大会を支えることによる地域の一体感や活性化を経験した。今後もスポーツイベント誘致・開催支援・周知を行い、トップアスリート、特に市に関連あるアスリートを見る・応援する機会を継続的に創出していく。

スポーツイベント誘致・開催支援



県外からの参加者が多いトレイルイベントやモルックなどの大規模なスポーツイベントの開催支援を行ったほか、さらなるイベント誘客や富士山の麓でのスポーツ活動をPRを図るため、市内にある温浴施設、ランニング・サイクリングコースのPRページ、イベント誘致特集ページを作成した。

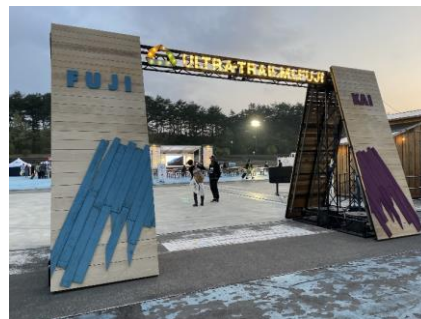
ウルトラトレイル・マウントフジ 2023 主催：ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会、共催：御殿場市

4月21日（金）～23日（日）

会場：富士山こどもの国～富士急ハイランドコニファーフォレスト

参加者数：3,452人※過去最多（すべての都道府県から参加、最多は東京都483人、参加者の40%が関東圏、海外30か国からも参加）

- ・ゴール会場（富士急ハイランドコニファーフォレスト）で毎年開催されている、日本最大級のトレイルランニングに関する展示・販売「MF EXPO」にPRブースを出展。観光PRのほか、カウベル貸出により大会の盛り上げに寄与した。
- ・大会が掲げる環境負荷軽減プロジェクトのサステナブルサポートガチャの景品として「ウイスキー陸（キリン）」「御殿場高原ビール3種セット（時之栖）」を提供し本市特産品の紹介を行った。



スポーツイベントの誘致・開催支援



ちいさなFUJI 2023

主催：株式会社アールビーズスポーツ 共催：御殿場市

9月11日（日） 会場：富士山御殿場口新五合目、「Mt.FUJI TRAIL STATION」

参加者数：388人（関東地方、中部地方から参加、参加者の50%が県内、うち市民71人）

- ・ 今大会は富士山御殿場口新五合目に会場を変更。砂走を走るコースのため、これまでよりもさらに過酷なレースとなった。
- ・ 天候に恵まれ、道中で宝永山や頂上が目の前に現れる最高のロケーションのもと開催。
- ・ 大会の景品として市内のお菓子（大田屋のどらやき、とらやの羊羹、河内菓子店のみやまし強力餅）を提供。
- ・ 会場にはPRブースを設置しカウベルの貸し出しを行ったほか、レース終了後には富士山の幕岩を連想したアーモンドパイ（山崎製菓）を参加者にプレゼントした。
- ・ 閉山日イベント「富士山マルシェ」が同時開催され、参加者は地域のグルメで走り終えた後の疲れを癒した。
- ・ 参加者からは「また走りたい！」「トレラン初心者には最適な大会だった」など大好評だった。



スポーツイベントの誘致・開催支援



第1回富士山カップ（モルック）

主催：NAKA-Mol Gotemba 協力：スポーツタウン御殿場推進協議会

2023年8月5日（土） 会場：高根ふれあい広場

参加者数：220人（北海道～岡山県、市外から180人以上が参加）

- ・試合後には、参加者同士での連絡先を交換するなど、モルックで新たな交流が生まれた。
- ・参加者から「良い出会いがありました！」「多くの人と交流でき最高の1日でした」などSNSで喜びの声がたくさん上がっていた。
- ・モルックでまちを盛り上げるために参加者アンケートを実施。回答者には「ムー（アンドロウ・パレ）」をプレゼント。
- ・開催広報のほか、市民団体が行う100人以上が参加するスポーツツーリズムイベント支援として10万円の支援を行った。



SAKURAN SPRING FESTA 2024（モルック）

主催：SAKURAN333
共催：NAKA-Mol Gotemba

2024年3月16日（土）～17日（日） 会場：高根西ふれあい広場

参加者数：150人（北海道～岡山県、市外から120人以上が参加）



スポーツイベントの誘致・開催支援



ハッスル★マッスル 忍者 -御殿場公演-

主催：株式会社OTT 共催：御殿場市民会館、株式会社高橋企画

2023年5月5日（金・祝）・6日（土） 会場：御殿場市民会館

来場者数：約500人（2日合計）

トップアスリートやギネス記録保持者が己の限界に挑戦して、観る人を元気にする来場者参加型の筋肉エンターテイメントで、東京2020オリンピック空手競技出場の佐合尚人氏もパフォーマンスを行い会場を盛り上げた。主催者代表で地元御殿場西高等学校空手道部出身で小笠原大晃氏らによる公演は地元の子どもたちにスポーツを通じて目標や希望を与える公演となった。



富士山グルメライド

主催：富士山ごてんばサイクリングプロジェクト

2023年10月9日（月・祝） 会場：富士山樹空の森

当日は雨天により走行は中止となったが、参加者89人やボランティア含め集まった104人を対象にローラー練習や輪行袋の講習会、走行練習上注意点など2時間にわたり交流した。コース上でふるまう予定であった地元の特産品を参加者にふるまった。



スポーツイベントの誘致・開催支援

温浴施設・ランニング&サイクリングコースPR 【スポーツ庁補助金事業】

パンフレット製作部数：10,000部

- ・市内各地域の整備されたランニング・ウォーキング専用コースやサイクリストとも親和性の高い温浴施設を紹介するパンフレットを作成。ホームページ上にも展開した。
- ・富士山の麓、市内の様々な施設やコースでスポーツと温浴施設を楽しめる地として御殿場市をブランディング。
- ・スポーツと関連のある市内の店舗を紹介している。
- ・今後市内公共施設、温浴施設、スポーツイベント等でPRしていく。



イベント誘致ページ創設 【スポーツ庁補助金事業】

- ・スポーツに限らず様々なイベントを誘致するため、イベント主催者が必要とする施設情報（図面、電源、催排水など）をホームページに掲載。
- ・体育館や運動場などのスポーツ施設だけでなく、市民会館や富士山樹空の森などイベント開催が可能な施設を広く紹介し、スポーツイベントの誘致や開催支援につなげるものとした。



トッパスリートのみる機会の創出

ホームページや市広報媒体などで積極的に情報発信を行ったほか、市民のスポーツをみる・応援する機会を年間を通して創出した。来年度は事前告知にも力を入れ、多くの市民に周知していく。

御殿場市応援アスリートプロジェクト

世界大会に出場した3選手（川野将虎選手、足立和也選手、岡崎愛佳選手）の活躍を周知するため、御殿場駅東西自由通路に装飾物を掲出、またHPに掲載することで広く発信した。

・川野将虎 選手（御殿場南高校出身）

世界陸上2024ブダペストに出場し男子35km競歩で3位入賞、大会連続でメダルを獲得。大会では日本人メダリスト第1号となった。

・足立和也 選手（ムーンクラフト社製（板妻）カヤック使用）

9月に開催されたICFカヌースラローム世界選手権大会（ロンドン）に出場。結果は惜しくも33位となりパリオリンピックでの出場は叶わなかった。

・岡崎愛佳 選手（御殿場西高校出身）

10月に開催された世界空手道選手権大会（ブダペスト）女子個人組手-50kg級に出場し5位入賞を収めた。



トッパススリートのみる機会の創出



FIFA女子ワールドカップ オーストラリア&ニュージーランド 2023

開催期間：7月20日～8月20日

JFAアカデミー福島出身の選手5名が代表に選出されたことを受け、市内装飾やHPでの情報発信を行い、市内の応援ムードを高めた。

メンバー

- ・三宅史織 選手 ・平尾知佳 選手（富士岡中学校出身） ・守屋都弥 選手（富士岡中学校出身）
- ・遠藤純 選手（富士岡中学校出身） ・石川璃音 選手
- ・出場選手や試合日程を紹介する大型看板を御殿場駅富士山口に、懸垂幕を市役所東館に掲出。選手たちのもとにも情報が届き、選手や所属チームのSNSで感謝されるなど、大きな反響を得た。
- ・大会情報、本市とJFAアカデミー福島との関係、選手情報を詳細に紹介した記事を制作。同級生からの応援メッセージなども掲載した。
- ・応援アスリートに指定したことを証する「アスリート指定証」を制作し、大会前に各選手に贈呈した。



JFAアカデミー福島は2024年3月に活動をもって13年間の御殿場での活動を終了し福島県へ帰還したが、本市応援アスリートとして今後も彼らの活躍を見守り、継続的な交流を行う。

トッパスリートのみる機会の創出



トッパスリートをみる機会の創出

FIFA女子ワールドカップ オーストラリア&ニュージーランド2023 パブリックビューイング

JFAアカデミー福島出身選手が5名なでしこジャパン（日本代表）に選出され、御殿場市に所縁のある選手、御殿場市応援アスリートとして、市を挙げて応援した。

（計約200名参加）

日程：7月31日（月） 会場：市役所

日程：8月 5日（土） 会場：時之栖

日程：8月11日（金・祝） 会場：市役所



ラグビーワールドカップ2023パブリックビューイング

静岡ブルーレヴズの選手やOBをゲストに招き、静岡のエコパスタジアムでも開催された前回大会に続き、日本代表が活躍する姿を応援した。（計約320名参加）

主催：スポーツタウン御殿場推進協議会 日程：9月10日（日） 会場：時之栖

主催：原里地区振興協議会 日程：10月8日（日） 会場：原里支所



トッパスリートのみる機会の創出

トッパスリートをみる機会の創出・市民などの活躍情報発信

近隣で行われるスポーツイベントの広報および観戦勧奨

①市SNSやスポーツタウン御殿場HP上での告知

- ・アスクラロ沼津 10/22（日）市民無料招待
- ・モータースポーツ 市民入場無料の案内

②広報ごてんばへの記事掲載

③しずおかしまち対抗駅伝 応援タペストリーの制作

展示期間：11月17日（金）～12月4日（月）

展示場所：市体育館、けやき館、御殿場駅東西自由通路



アスクラロ沼津 市長表敬訪問



応援タペストリー

市民などの活躍情報発信

6月 スペシャルオリンピックス（ドイツ・日本代表選手へ市内馬術クラブが練習場を提供）

8月 全国高等学校総合体育大会（ハンドボール、ホッケー、空手）

9月 第19回アジア競技大会 杭州（サッカー女子、馬場馬術）

10月 第35回出雲全日本大学選抜駅伝

12月 富士山女子駅伝（2023全日本大学女子選抜駅伝競走）

など

⑤ 東京2020大会レガシー事業

トップアスリートとの交流、 スポーツを通じた共生社会の実現

市にゆかりある東京2020大会に出場したアスリートを始めとするオリンピック・パラリンピアンとの交流や、ボッチャなどの誰もが参加できるスポーツを体験する機会を創出し、世界を身近に感じてもらい、スポーツ振興・共生社会の理解促進に繋げる。

サイクルスポーツ・空手のまちづくり

東京2020大会ロードレースの開催会場、空手イタリア代表の東京2020大会事前合宿地として多くの地域住民が大会やトップアスリートと交流した。これらのレガシーを未来へ継承するため、サイクルスポーツや空手を活用したまちづくりを推進する。

トッパスリートとの交流

トッパスリートとの交流を通して、トッパスリートのメンタリティや身体能力を高さを体感し、競技振興やトッパスリートに憧れを持ち目指す、応援する機会を創出した。

トッパスリートとの交流

静岡ブルーレヴズとの交流

学校訪問授業 9月11日（月） 会場：東小学校 参加者：約150人

静岡ブルーレヴズのスタッフで、ラグビーワールドカップ2003など日本代表として出場経験がある久保晃一氏と、各世代別日本代表として出場経験のある田井中亮範氏を迎え、4年生～6年生にタグラグビーの授業を行った。

本事業は静岡県全域をホストエリアとして活動している静岡ブルーレヴズの「Revsキャラバン」として実施された。



ラグビー体験会 10月9日（月・祝） 会場：原里小学校 参加者：約30人

日本代表として出場経験がある静岡ブルーレヴズの日野剛志選手と伊東力選手を迎え、小学生を対象に、Mt.Fujiラグビーアカデミー主催で体験会を行った。

参加者からは、「みんなと一緒にボールを取ったりあったりしたのが楽しかった」や「日本代表になって自分たちがワールドカップに出て優勝したい」といった声が聞けた。



トッパスリートとの交流



トッパスリートとの交流

元サッカー日本代表鈴木啓太さんによる サッカー教室 【スポーツ庁補助金事業】

1月29日（月） 会場：御殿場市陸上競技場

参加者：御殿場南高・御殿場高・御殿場西高・小山高サッカー部 54人

毎年5月に開催されている音楽フェスティバル「ACO CHiLL CAMP」実行委員会のご協力のもと、イベントで開催しているサッカー教室を派生させ高校生を対象に開催しトッパレベルのトレーニングを体感してもらった。今後も継続した開催を目指すものとして既存のイベントとの連携をしていく。



アスクラロ沼津選手との交流

2月24日（土） 会場：印野地区スポーツ公園 丸尾パーク

参加者：市内中学校サッカー部 90人

市とパートナーシップ協定を結ぶアスクラロ沼津の杉本大雅選手と岩崎圭吾選手と育成スタッフにお越しいただき、市内中学サッカー部員との交流事業を開催した。

参加した生徒のみなさんは現役のプロサッカー選手から直接アドバイスをもらったり、プロの技を間近で見たことで大きな刺激を受けていた。



トッパスリートとの交流



トッパスリートとの交流

株式会社エスパルスとファミリータウンパートナーシップ協定を締結 12月19日（月）

御殿場市は静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会（E-spo）仲介のもと、清水エスパルスとファミリータウンパートナーシップ協定を締結した。協定式には山原怜音選手（JFAアカデミー福島出身/富士岡中学校出身）も出席。

株式会社エスパルスは以前より御殿場市でサッカースクールを実施しており、市と関わりが深い。今回の協定を機に更なる連携のもと地域活性化を図る。



静岡ブルーレヴズ株式会社とパートナーシップ協定を締結 3月7日（木）

ラグビートップリーグで活躍する静岡ブルーレヴズとパートナーシップ協定を締結した。今後スポーツの振興のほか子供たちの健全育成、賑わいの創出などスポーツを活かしたまちづくり・ひとづくりの推進に関し本市と連携をしながら地域の活性化を図っていく。



スポーツタウン御殿場としても、今後、各企業と連携を取り、スポーツ教室やキャリア教育授業等のトッパスリートとの交流事業の実施予定。

スポーツを通じた共生社会の実現



パラリンピアンとの交流やパラスポーツ体験、誰もが参加できるスポーツを活用した交流を通して、共生社会の実現に寄与した。

スポーツを通じた共生社会の実現

車いすバスケットボール体験会

2024年2月24日（土）会場：市体育館 参加者：約100人

車いすバスケットボール連盟に協力いただき、障がいの有無にかかわらず、車いすの操作やシュートを体験できる会を開催した。

ゲストには、世界選手権大会に出場経験がある春田選手を招き、参加者と交流した。



パラスポーツの紹介パネル展示（併催）

P.UNITED（※1）の協力のもと、パネル展示を行いパラスポーツを知る機会を創出した。

※1…パラスポーツ9団体が集まり、団体ごとの経験や知恵を共有することで共生社会の実現をより具体的に実践することを目的とした組織。



ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム

8月30日、いつでもどこでも誰でもがスポーツを楽しみ、豊かで活力に満ちた“ふじのくに”を目指して、パラスポーツでつながる官民連携組織が静岡県で立ち上げられ、御殿場市も加盟した。

サイクルスポーツのまちづくり

東京2020大会ロードレース会場として協働した近隣自治体と連携したサイクリスト誘客や国際自転車ロードレース大会観戦ツアーを開催。子どもたちに自転車に触れるきっかけとなる事業を支援した。

静岡県、小山町、裾野市との連携事業

※【資料5】に詳細を記載

市単独では実施が困難な広域事業や、オリンピックレガシーを継承する事業を実施

- ・ ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム観戦ツアー

11月6日（日）参加者：95名

- ・ 期間分散型サイクリングイベント「サイクルボール」

4月29日（土）～1月31日（水）

キッズバイク教室の開催

主催：富士山ごてんばサイクリングプロジェクト

日時：6月7日（木）会場：印野こども園／日時：6月20日（火）会場：高根第二保育園

日時：7月3日（月）会場：西保育園／日時：12月19日（火）会場：原里第一保育園

自転車を通じた地域活性化を目指す取組みとして、オリンピック自転車競技が開催されたまちでひとりでも多くの子どもに自転車に乗る楽しみを知ってもらうことを目的に実施された。



空手のまちづくり



スポーツ庁「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」受賞により室伏広治スポーツ庁長官が本市を視察。12月には、イタリア代表と本市子供たちとの空手や文化交流が実現。空手のまちづくりが大きく推進された。

室伏広治スポーツ庁長官による「御殿場市のスポーツによるまちづくり」視察

2023年9月12日（火）

視察先：御殿場市役所、富士カントリークラブ、上柴怒田レガシー銘板、御殿場市立玉穂小学校、御殿場西高等学校

本市が推進するオリパラレガシーや空手を活かした武道によるまちづくりを視察。当日はオリンピック佐合尚人氏による小学生空手体験授業や御殿場西高等学校空手道部の練習を視察。※詳細はスポーツタウン御殿場HP記事より（QRコード）



御殿場夏祭り空手パレード

日時：2023年8月5日（土） 会場：御殿場市二枚橋プラザ～杉原交差点

参加者：御殿場市空手道連盟 約30名

「空手のまちづくり」の取組みの一環として、御殿場市空手道連盟に所属する市内道場の空手キッズによる演武が行われた。多くの来場者が足を止め観ていた。



第2回空手道 Karetado Mt.Fuji Junior Championship in Gotemba

主催：スポーツタウン御殿場推進協議会

2023年12月3日（日） 会場：御殿場市体育館 来場者：約800人 Web配信閲覧者：10,000人以上

大会のコンセプトに賛同が得られ、世界空手連盟、全日本空手道連盟、静岡県空手連盟が引き続き大会を後援。今大会は、全国及び静岡県高等学校体育連盟空手道専門部のご尽力により各連盟推薦選手が出場。さらに、2017年から交流を続けているイタリアから高校年代代表チームが出場した。このほか、静岡県の後援も新たに得られたなか、御殿場市空手道連盟の競技主管のもと大会を開催した。

大会コンセプト

- ・世界での活躍を目指す高校生のステップアップとなる大会
- ・空手や武道の魅力を空手発祥国日本の高校生を通じ国内外に発信する大会
- ・東京2020大会のレガシー大会として空手競技の普及に寄与し、オリンピック競技大会での空手競技採用に向けた機運醸成を兼ねる大会

来賓・ゲスト

- ・来賓として、笹川堯全日本空手道連盟会長、静岡県空手道連盟会長が来場、さらに世界空手連盟事務総長や東京2020オリンピックで金メダルを獲得したブサ・ルイージ選手から祝辞動画をいただいた。
- ・ゲストとして、世界空手連盟国際審判員である南澤徹氏が審判監修に就任、御殿場西高等学校出身で全日本マスタース優勝経験のある小島万記氏と東京2020大会出場の佐合尚人氏が本大会解説員を務めた。



空手のまちづくり



出場選手

- ・ 御殿場西高等学校、日本航空高等学校（山梨）、福井工業大学附属福井高等学校（福井）
- ・ 全国高体連空手道専門部推薦枠（全国インターハイ男子個人組手上位者）
- ・ 静岡県高体連空手道専門部推薦枠（静岡県インターハイ男女団体組手上位4校から1名ずつ）
- ・ 空手イタリア高校年代代表チーム（組手男女各3名、形男女各1名 計8名）

大会の特徴

- ・ 高校年代日本代表クラスの選手のみが出場し、全ての試合で高いレベルを実現
- ・ 世界ジュニア選手権のルールを採用
- ・ 「魅せる空手」を意識（少ないマット数、ライト演出、大型ビジョン、会場MC等）
- ・ 生解説入りの動画配信により、空手や武道の魅力を国内外に発信

成果

- ・ 第1回からの継続開催となり、選手、審判員、競技運営など多くの関係者のご理解とご協力が得られる大会となった。会場内には元空手日本代表選手も応援に駆け付けていた。
- ・ 東京2020大会に向けて行ってきたホストタウン交流が身を結び、新たな国際交流の形へつながる貴重な機会となった。



空手のまちづくり



空手イタリア高校年代代表チームとの交流

主催：スポーツタウン御殿場推進協議会

滞在期間：11月28日（火）～12月4日（月）

東京2020大会に空手競技が採用されたことに伴い、2019年から交流を続けてきたイタリアから第2回東京大会レガシー空手大会に出場するために高校年代代表チームが来日し、合同練習や練習や市民との交流を行った。

選手団：団長（イタリア総合格闘技連盟副会長）、監督、コーチ2名、選手組手6名・形2名、
親善大使として東京2020大会空手競技出場選手2名 計 14名

第2回東京2020大会レガシー空手大会への出場

世界選手権6度の金メダルを獲得したルーカ・ヴァルデージ監督をはじめ世界やヨーロッパの大会で多くの優秀な成績を収めている選手が出場したことで、日本の高校生は国際レベル競技を体感することができた。

御殿場西高等学校空手道部との合同練習

滞在期間中、御殿場市体育館にて練習を行った。練習は一般公開されホストタウン交流をきっかけにイタリア代表選手のファンとなった空手キッズも駆けつけ、当時の思い出を共有していた。また、御殿場西高等学校空手道部と合同練習を行い双方の練習方法や取り組みを経験した。

練習終了後には、笑顔で交流する姿が見られ空手の競技力強化のみならず国際交流として英知を養うことに繋がった。



空手のまちづくり



空手イタリア高校年代代表チームとの交流

主催：スポーツタウン御殿場推進協議会

静岡県立御殿場高等学校との文化交流 11月30日（木）

御殿場高校情報ビジネス科メディア観光コースの生徒と地元菓子店「大田屋」の琥珀糖ラッピングや書写、折り鶴などを体験した。代わりにイタリアチームから演武の披露や空手を活かした護身術を手ほどきするなど、互いに文化交流を行い高校生という多感な時期にお互いの経験や文化を共有した。



市内空手道場への訪問 11月29日（水）・12月1日（金） 会場：真空塾、尚空塾

イタリアの選手たちの「日本にある道場を訪問したい」という希望から、御殿場市内2か所の空手道場へ訪問を行った。道場では普段から行われている練習の見学し、道場で空手の稽古に励んでいる子どもたちや師範がイタリアチームとの交流を行った。



市内空手キッズを対象とした空手教室 12月2日（土） 会場：御殿場市体育館

「市民の誰もが空手を語れるまちへ」という目標達成のもと、市内空手キッズを対象にイタリアチームによる空手教室を行った。親善大使として参加したブザート・マッティア選手、シルヴィア・セメラーク選手（ともに東京2020大会出場者）を中心に準備体操や空手の基本動作を行った。空手教室終了後サイン会を行うなど、現役世界トップレベルの選手にあこがれを抱くような表情が多くみられた。





SPORTS TOWN.
GOTEMBA
富士山の麓でスポーツ交流